



謹啓

出書狀持筆致、

濱城和飯塚朝次郎

申主人より濱城和

氏宛連名請紙書持

口玉の爲の上書致、是記

其閣下にお福傳り由

致致之向志以は健康の

旨申通致とあり、其間

十分間なり、一寸延

見、採取致、採首

九月廿

采野文雄



申先人年上流城名  
正修遠志請就書捧  
日玉の爲の上高木詩、是此  
其閣下、高福傳、福  
孫陵之同志、此は健康の  
吾身通、詩の、事、其間  
十分間、なり、是一寸、延  
見、年、採、如、新、採、者

九月也。

采野文雄

大隈閣下

下執事